

I 調査結果の概要

1 食肉流通の動向

(1) 豚

ア 豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,610万4千頭で、前年に比べ0.6%減少した(図1、表1)。

図1 豚のと畜頭数の推移(全国)

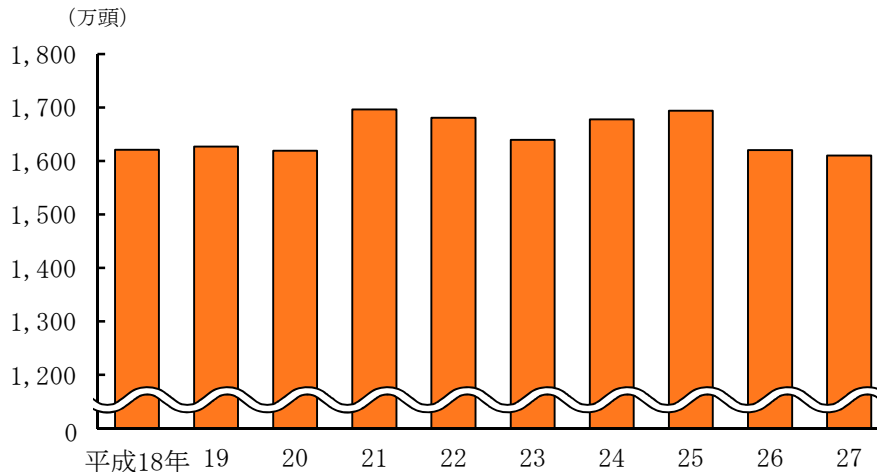


表1 豚のと畜頭数の推移(全国)

区分	単位	平成18年	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
実数	千頭	16,210	16,268	16,192	16,966	16,807	16,395	16,776	16,940	16,203	16,104	
対前年比	%		99.8	100.4	99.5	104.8	99.1	97.5	102.3	101.0	95.6	99.4

注：対前年比は、原数(Ⅱ統計表における表章単位)より算出している(以下各表において同じ。)

イ 取引成立頭数

豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.3%で、前年並みとなった(表2)。

また、食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚の取引成立頭数は214万7千頭で、前年に比べ0.3%減少した。市場別では、中央卸売市場が93万3千頭で前年に比べ0.3%増加したが、指定市場は121万4千頭で前年に比べ0.7%減少した(表3)。

表2 豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

区分	全国と畜頭数		食肉卸売市場 取引成立頭数	割合
	千頭		千頭	
平成26年	16,203	16,203	2,153	13.3
27	16,104	16,104	2,147	13.3

表3 食肉卸売市場における豚の取引成立頭数

区分	単位	計	中央卸売市場 取引成立頭数	指定市場 取引成立頭数
平成26年	千頭	2,153	930	1,222
27	〃	2,147	933	1,214
対前年比	%	99.7	100.3	99.3

注：四捨五入の関係で合計値と内訳の計は必ずしも一致しない(以下、各表において同じ。)

ウ 豚肉の卸売価格（1 kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が599円で0.5%上昇したが、「上」が560円、「省令」が560円、「中」が539円、「並」が500円及び「等外」が352円で、前年に比べそれぞれ0.4%、0.4%、0.7%、2.0%、9.3%低下した（表4）。

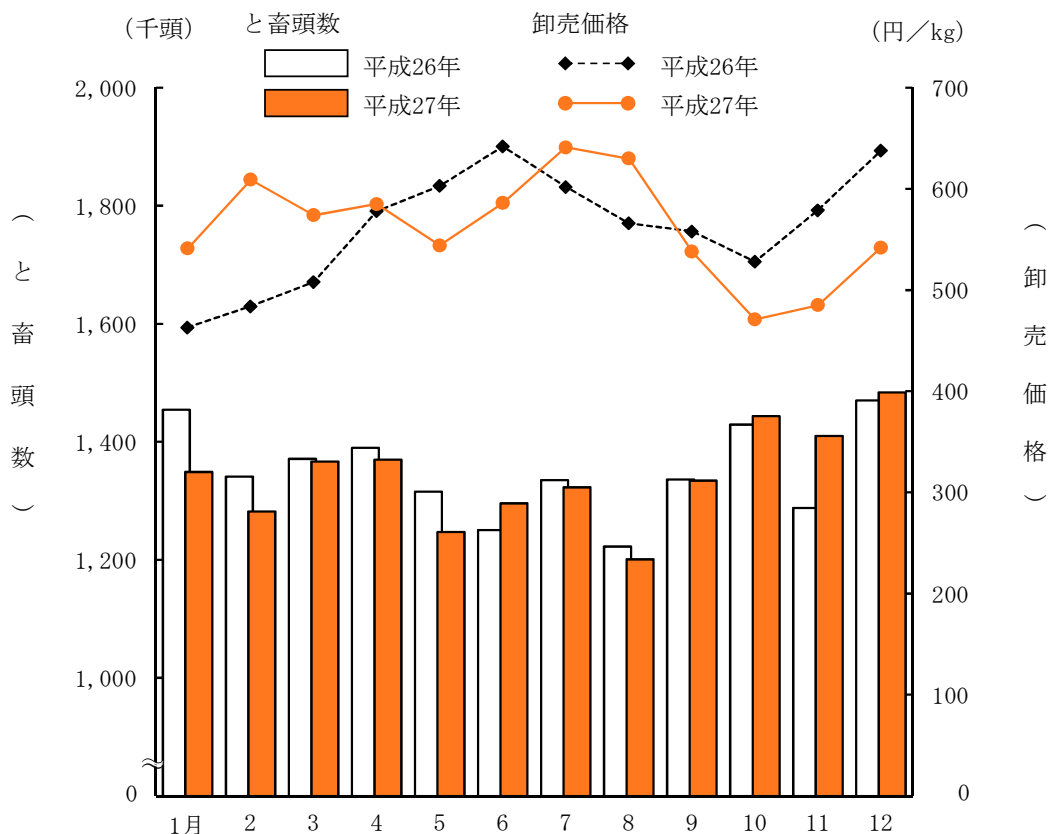
また、月別の卸売価格（省令）は、1月～4月、7月及び8月は前年を上回り、その他の月は前年を下回って推移した（図2）。

表4 豚肉の規格別卸売価格

区分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成26年	円/kg	596	562	562	543	510	388
27	〃	599	560	560	539	500	352
対前年比	%	100.5	99.6	99.6	99.3	98.0	90.7

注：1)は、「極上」及び「上」を合わせたものである。

図2 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(2) 牛

ア 成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は110万1千頭で、前年に比べ4.2%減少した。

このうち、和牛は48万3千頭、乳牛は38万5千頭、交雑牛は22万2千頭、その他の牛は1万2千頭で、前年に比べそれぞれ4.9%、2.2%、5.9%、8.5%減少した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は43.8%、交雑牛は20.1%、その他の牛は1.1%で前年に比べそれぞれ0.3ポイント、0.4ポイント、0.1ポイント低下したが、乳牛は34.9%で前年に比べ0.7ポイント上昇した（図3、表5）。

図3 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

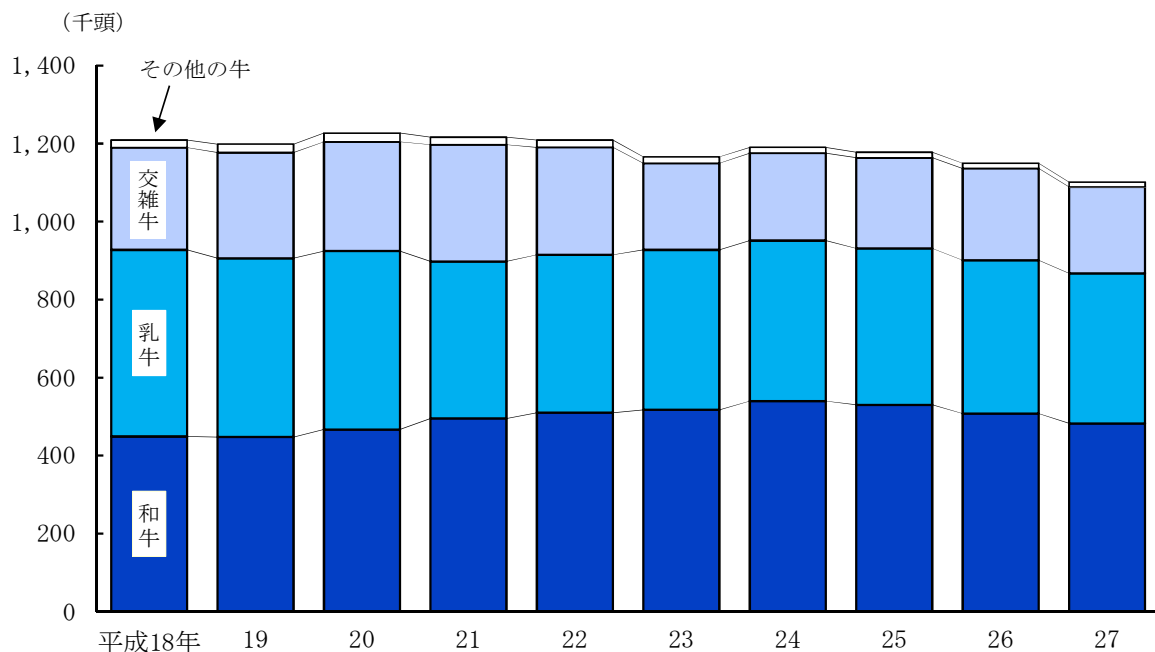


表5 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区分	単位	平成18年	19	20	21	22	23	24	25	26	27
と畜頭数											
成牛計	千頭	1,209	1,199	1,227	1,217	1,209	1,166	1,191	1,178	1,150	1,101
和牛	〃	449	448	467	495	510	518	540	530	507	483
乳牛	〃	478	458	458	403	405	410	411	401	393	385
交雑牛	〃	262	271	280	299	276	222	225	233	236	222
その他の牛	〃	19	22	22	20	18	16	15	14	13	12
対前年比											
成牛計	%	99.0	99.2	102.3	99.2	99.4	96.4	102.1	98.9	97.6	95.8
和牛	〃	97.1	99.6	104.3	105.9	103.1	101.5	104.3	98.1	95.8	95.1
乳牛	〃	99.0	95.8	99.9	88.1	100.4	101.3	100.3	97.6	98.0	97.8
交雑牛	〃	102.4	103.3	103.3	107.0	92.2	80.6	101.1	103.5	101.4	94.1
その他の牛	〃	102.4	114.6	101.0	88.9	92.9	86.9	93.4	96.0	93.5	91.5
構成比											
成牛計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和牛	〃	37.2	37.3	38.1	40.7	42.2	44.4	45.3	45.0	44.1	43.8
乳牛	〃	39.6	38.2	37.3	33.1	33.5	35.2	34.5	34.1	34.2	34.9
交雑牛	〃	21.7	22.6	22.8	24.6	22.8	19.1	18.9	19.7	20.5	20.1
その他の牛	〃	1.6	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1

注：1 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

イ 取引成立頭数

成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は33.8%で、前年に比べ1.4ポイント低下した（表6）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は37万2千頭で、前年に比べ8.2%減少した。

市場別では、中央卸売市場は27万6千頭、指定市場は9万6千頭で前年に比べそれぞれ7.2%、10.9%減少した。畜種別では、和牛は20万2千頭、乳牛は6万3千頭、交雑牛は10万6千頭、その他の牛は1千頭で、前年に比べそれぞれ7.8%、5.7%、10.2%、13.3%減少した（表7）。

表6 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年次	全国と畜頭数		割合
	千頭	食肉卸売市場 取引成立頭数 千頭	
平成26年	1,150	405	35.2
27	1,101	372	33.8

表7 食肉卸売市場における成牛の取引成立頭数

区分	単位	計	市場別		畜種別			
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	交雑牛	その他の牛
平成26年	千頭	405	298	107	219	67	118	1
27	〃	372	276	96	202	63	106	1
対前年比	%	91.8	92.8	89.1	92.2	94.3	89.8	86.7

ウ 牛肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、全ての規格で前年を上回った（表8）。

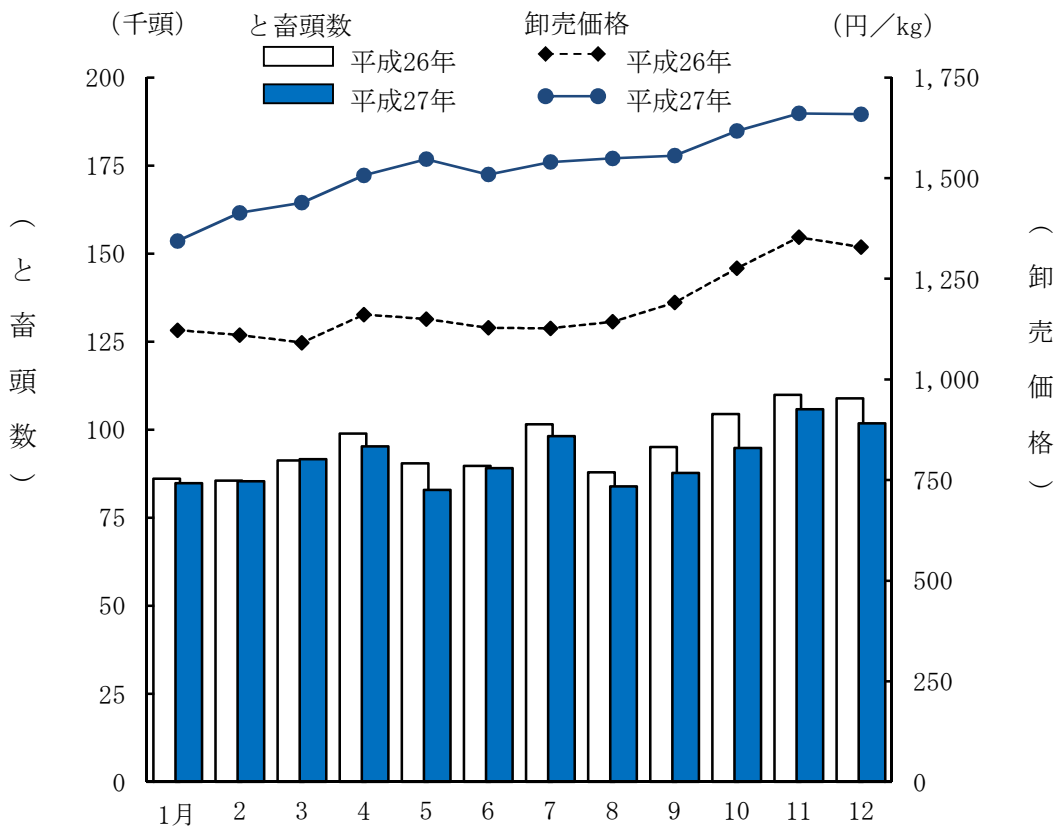
また、月別の卸売価格（省令）も、全ての月で前年を上回って推移した（図4）。

表8 成牛の規格別卸売価格

区分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1	1)省令
平成26年	円/kg	2,313	1,989	1,741	1,377	1,028	1,991	1,597	1,337	1,070	778	1,617	1,362	1,203	859	579	1,184
27	"	2,653	2,399	2,148	1,745	1,222	2,356	1,955	1,692	1,399	969	1,946	1,709	1,561	1,127	699	1,530
対前年比	%	114.7	120.6	123.4	126.7	118.9	118.3	122.4	126.6	130.7	124.6	120.3	125.5	129.8	131.2	120.7	129.2

注：1)は、去勢牛の「B-3」、「B-2」を合わせたものである。

図4 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(3) と畜場数

豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は154場、と畜頭数は1,610万4千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は66場、と畜頭数は1,319万4千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ42.9%、81.9%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は137場、と畜頭数は110万1千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は38場、と畜頭数は73万3千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ27.7%、66.5%であった(表9)。

表9 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数(全国)

区 分	単位	豚					成 牛				
		計	19,999頭 以下	20,000～ 49,999	50,000～ 99,999	10万頭 以上	計	999頭 以下	1,000～ 4,999	5,000～ 9,999	10,000頭 以上
と畜場数											
平成26年	場	159	43	23	26	67	140	26	36	38	40
27	〃	154	39	22	27	66	137	24	42	33	38
構成比											
平成26年	%	100.0	27.0	14.5	16.4	42.1	100.0	18.6	25.7	27.1	28.6
27	〃	100.0	25.3	14.3	17.5	42.9	100.0	17.5	30.7	24.1	27.7
と畜頭数											
平成26年	千頭	16,203	177	750	1,957	13,319	1,150	8	103	267	773
27	〃	16,104	165	705	2,040	13,194	1,101	8	127	233	733
構成比											
平成26年	%	100.0	1.1	4.6	12.1	82.2	100.0	0.7	8.9	23.2	67.2
27	〃	100.0	1.0	4.4	12.7	81.9	100.0	0.7	11.6	21.2	66.5

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は252万1千tで、前年に比べ0.8%増加した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が8.0%と最も高く、次いで千葉県が6.9%、鹿児島県が6.7%、広島県が5.2%、岡山県が4.9%の順となっている（図5、表10）。

図5 鶏卵生産量の推移（全国）

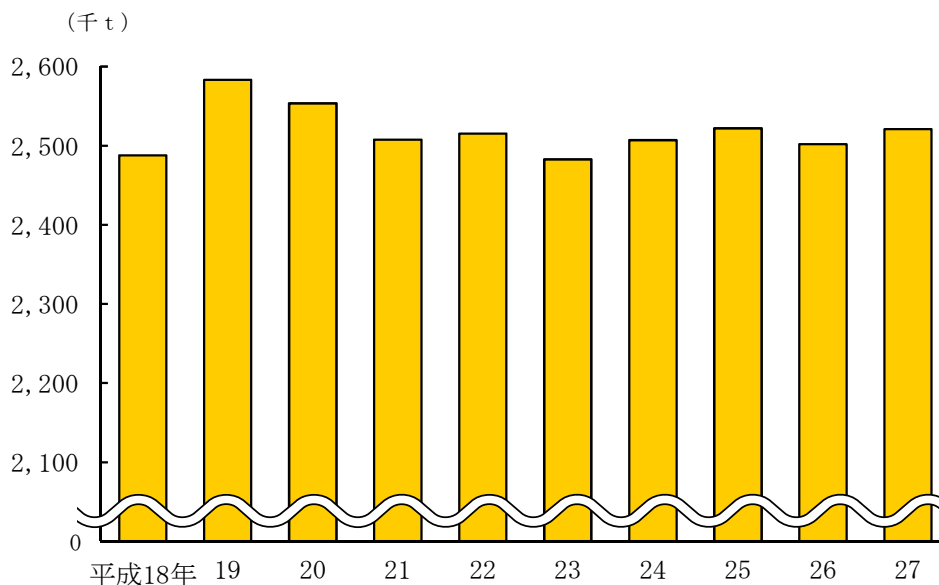
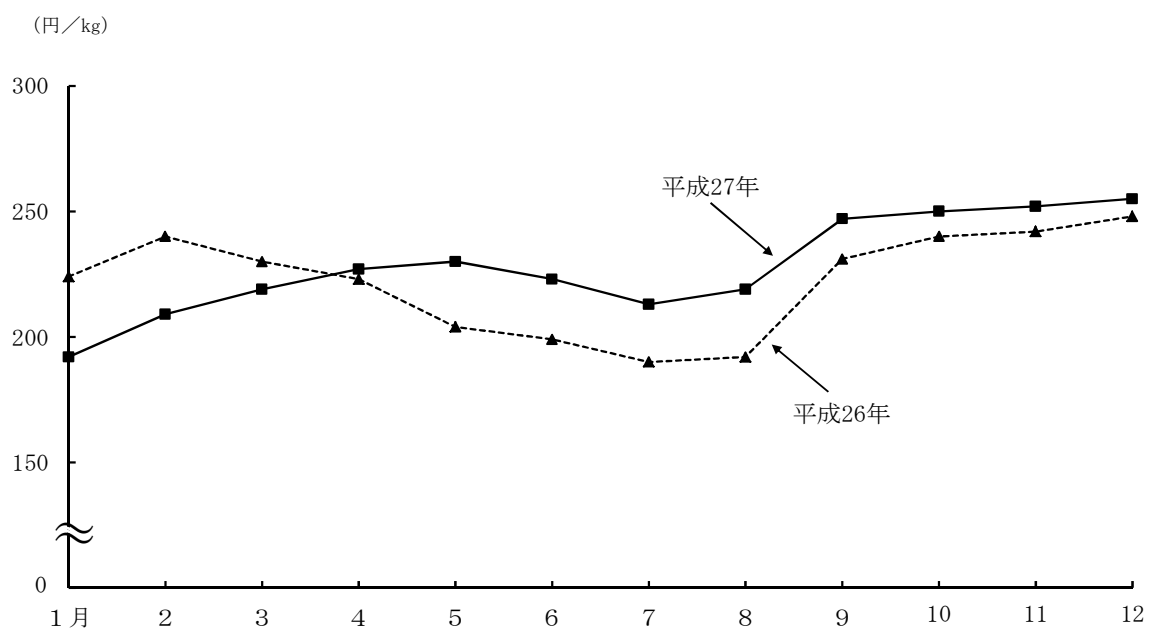


表10 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	平成27年 構 成 比
	平成26年	27		
	千t	千t	%	%
全 国 計	2,502	2,521	100.8	100.0
茨 城	190	202	106.2	8.0
千 葉	172	174	101.3	6.9
鹿 児 島	166	168	101.0	6.7
広 島	133	132	98.8	5.2
岡 山	126	125	98.8	4.9
北 海 道	106	108	101.6	4.3
愛 知	114	104	91.0	4.1
青 森	96	100	104.6	4.0
新 潟	110	96	87.5	3.8
兵 庫	82	89	109.2	3.5
そ の 他	1,206	1,223	101.4	48.5

(参考) 卸売価格 (鶏卵市況情報)

図6 鶏卵の月別卸売価格の推移
(東京全農系、M規格、中値)



資料：農林水産省統計部「鶏卵市況情報」

3 食鳥流通の動向

食鳥の全国処理羽数は、肉用若鶏が6億6,685万9千羽で、前年に比べ1.3%増加したが、廃鶏が7,811万2千羽、その他の肉用鶏が609万羽で、前年に比べそれぞれ1.3%、1.7%減少した。

また、全国の処理重量は、肉用若鶏が197万3,461 t で前年に比べ1.8%増加したが、廃鶏が13万8,809 t、その他の肉用鶏が1万9,704 t で、前年に比べそれぞれ0.8%、1.9%減少した（表11）。

表11 食鳥処理量（全国）

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	廃 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏
処理羽数（生体）				
平成26年	千羽	658,483	79,141	6,196
27	〃	666,859	78,112	6,090
対前年比	%	101.3	98.7	98.3
処理重量（生体）				
平成26年	t	1,938,606	139,990	20,088
27	〃	1,973,461	138,809	19,704
対前年比	%	101.8	99.2	98.1

注：平成27年の数値は、年間の食鳥処理羽数30万羽以上の処理場のみを調査対象として調査を実施した結果である。
このため、当年値との比較に用いる平成26年の数値についても、年間の食鳥処理羽数30万羽以上の食鳥処理場を対象に、新たに集計した結果である。

（参考）累年データ

1 食鳥の処理羽数及び処理重量（全国・処理羽数30万羽以上の処理場）

区分	肉用若鶏		廃鶏		その他の肉用鶏	
	処理羽数	処理重量	処理羽数	処理重量	処理羽数	処理重量
	千羽	t	千羽	t	千羽	t
平成23年	609,664	1,761,025	78,603	135,347	6,132	19,433
24	645,064	1,875,212	80,841	141,869	6,255	20,268
25	651,303	1,896,920	77,112	130,461	6,398	20,482
26	658,483	1,938,606	79,141	139,990	6,196	20,088
27	666,859	1,973,461	78,112	138,809	6,090	19,704

注：平成23年から26年は、年間の食鳥処理羽数30万羽以上の食鳥処理場を対象に、新たに集計した結果である。

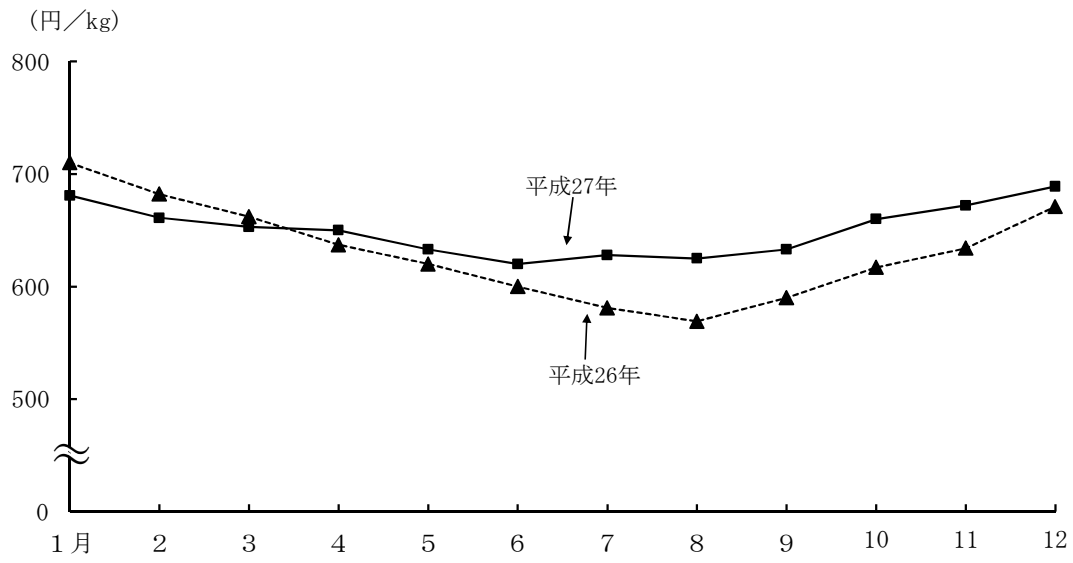
2 食鳥の処理羽数及び処理重量（全国・全ての食鳥処理場）

区分	肉用若鶏		廃鶏		その他の肉用鶏	
	処理羽数	処理重量	処理羽数	処理重量	処理羽数	処理重量
	千羽	t	千羽	t	千羽	t
平成23年	617,176	1,783,393	88,879	154,004	8,006	24,901
24	649,629	1,889,158	90,656	159,691	8,231	26,021
25	653,999	1,905,255	86,227	147,056	8,410	26,335
26	661,030	1,946,449	87,359	155,219	8,365	26,517

注：全国全ての食鳥処理場を対象に調査した結果である。

(参考) 卸売価格 (食鳥市況情報)

図7 ブロイラーの月別卸売価格
(東京、中値、もも肉) の推移



資料：農林水産省統計部「食鳥市況情報」